

演出空間用照明器具 LEDフィックスライト

品番 NNQ30564ZLD1

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

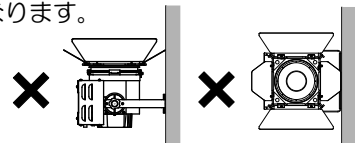
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告



- 施工は、施工説明にしたがい確実に。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品の交換をしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルの電源プラグを抜き差ししない。火災・感電の原因となります。
- 必ず純直電源の電源電圧 $100V \pm 6\%$ で使用する。調光回路電源は使用しない。指定外の電源電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 天井面取付・据え置き取付専用器具です。不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



- 器具と被照射物は、10cm以上離す。近接限度距離内に被照射物が近づくおそれのある場所では使用しない。過熱による火災の原因となります。
- 天井取付で使用する場合は、必ず落下防止ワイヤーによる落下防止を行う。又、落下防止ワイヤーは指定の取付方法で確実に取り付けを行う。誤った取り付けを行うと、部品の破損時に器具が落下し、けがの原因となります。

⚠ 注意

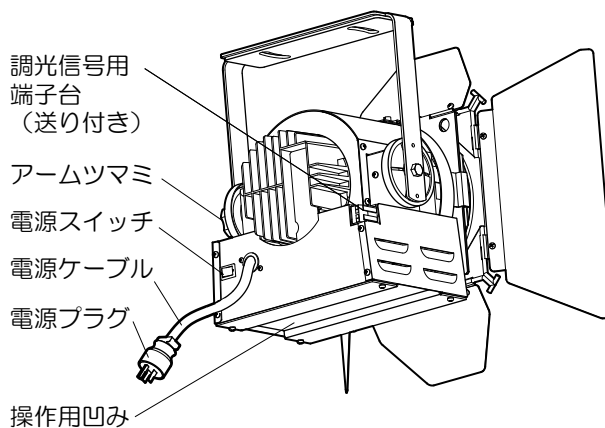
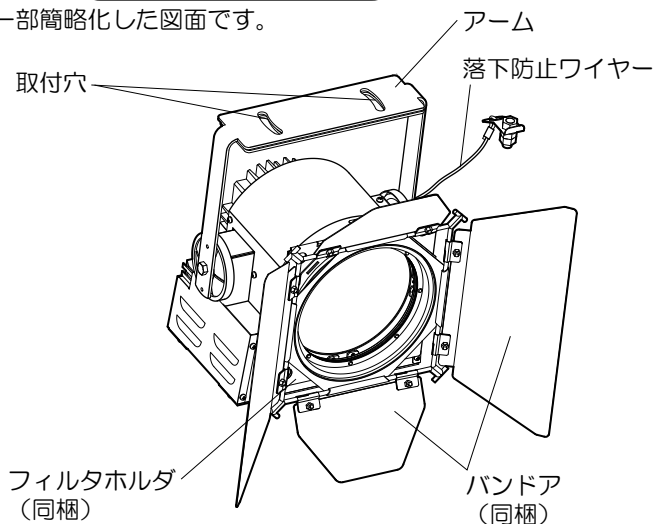
- 屋内専用器具です。屋外、直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の大きい場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下・短寿命・サビの原因となります。
- 器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気の発生する場所では使用しないでください。火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災・感電・短寿命の原因となります。
- 演出空間用の器具です。演出空間の用途で、使用してください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
- ケーブルだけを持って運ばないでください。破損・故障・感電の原因となります。

施工上のご注意

- 漏洩電流を考慮し、1回路あたりの接続台数を22台以下としてください。（定格電流20A、感度電流30mAの漏電ブレーカの場合）

各部のなまえ

・一部簡略化した図面です。



取り付け方 LEDフィックスライトは次の方法で取り付けができます

1. 取り付け前の確認をする

- ・器具質量 6.4 kg に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・取付面にピッチ 140 mm で 2-M10 ボルト (出代 25~50 mm) を設置する。

2. 器具を取り付ける

- ・器具の照射方向を合わせながらダブルナットで確実に固定する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

注) 施工・器具可動を十分に考慮して造管材と器具のスペースを確保して設置ください。

注) 電源ケーブルを突っ張らせないようにしてください。

【天井取付の場合】

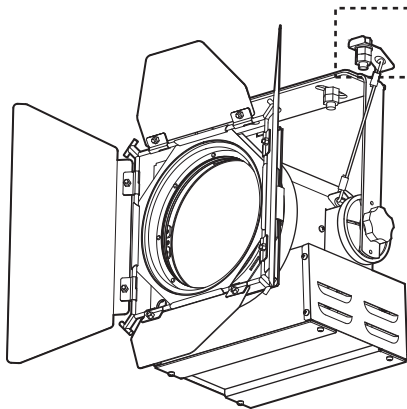
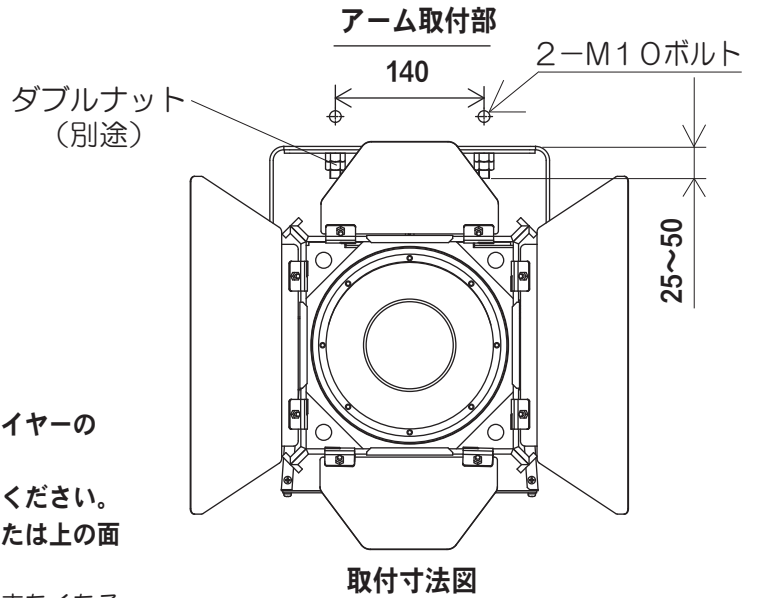
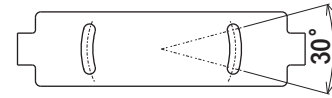
3. 落下防止ワイヤーを取り付ける

警告

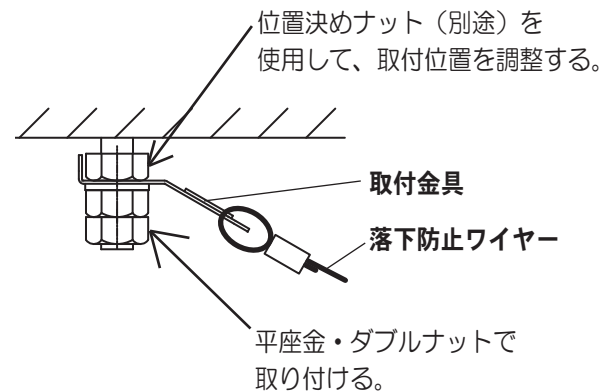
- 下記に注意して施工、使用する。
不備があると器具落下の原因となります。

- ・ M10 の取付ボルト (別途) を使用して、落下防止ワイヤーの片方の取付金具を天井面に取付ける。
注) 落下防止ワイヤーに張力がかからないように設置ください。
注) 位置決めナットの取付高さは器具取付面と同じまたは上の面になるように取り付けてください。
落下防止ワイヤーの取付場所によっては方向調整出来なくなる場合があります。

照射角度は左右 15° 調整可能

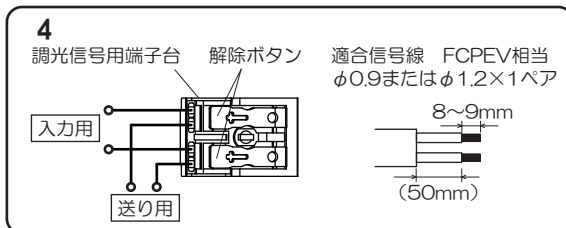


拡大図



4. 信号線を端子台に接続する

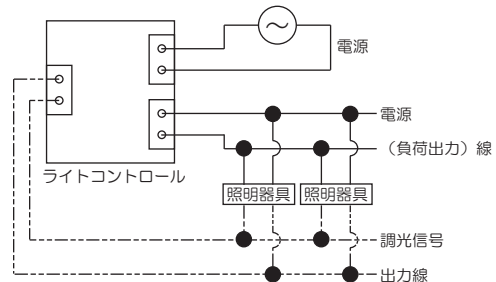
- ・調光信号入力/送りは下図の通りに接続する。
不備がありますと調光不良の原因となります。
- ・信号線は調光信号用端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む。
不備がありますと器具破損の原因となります。



<結線例>

ライトコントロール・信号機式 (LED・インバータ蛍光灯用) の場合 (PC側で使用する)

注意) 雑音障害をおよぼす場合がありますので、照明器具以外を同一電線に接続しないでください。



FCPEV相当φ0.9 (またはφ1.2) × 1ペア
配線長100mまで

※その他の調光器、調光装置に関しては、それぞれの承認図、取扱説明書をご確認ください。

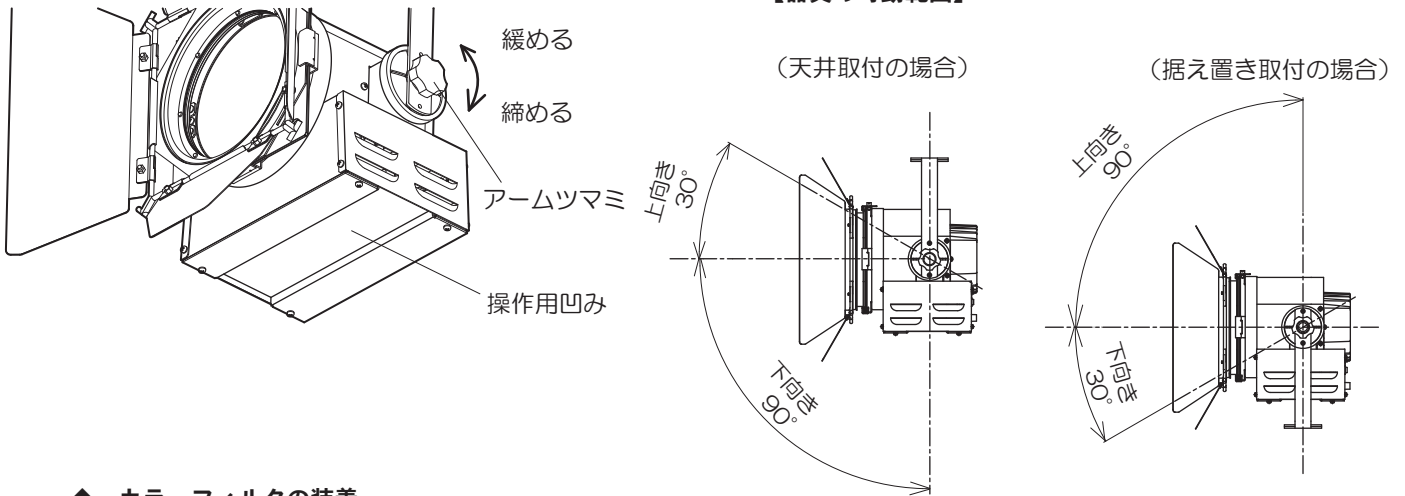
操作方法

◆ 照射方向の調整

上下方向の照射方向を調整、固定はアームツマミを使ってください。

1. アームツマミを緩め、照射方向を調整してください。
※シュート棒で操作する場合は、操作用凹みを押し調整ください。
2. 位置が決まりましたら、アームツマミを締め灯体を固定してください。

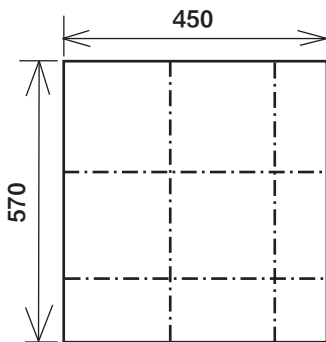
【器具の可動範囲】



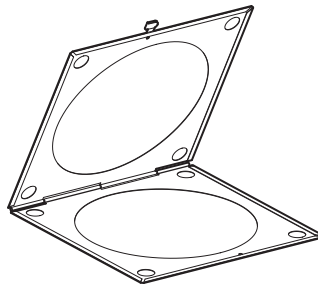
◆ カラーフィルタの装着

カラー演出をされる場合は、カラーフィルタが必要になります。

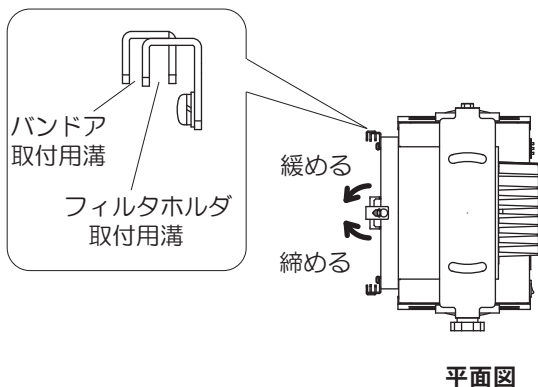
カラーフィルタ寸法 (コスモカラー) 別売



1. フィルタホルダに合わせて、カッターナイフなどで195×195にカットしてください。図のようにフィルタ1枚あたり4枚取れます。
2. フィルタホルダを開いて、カラーフィルタを挟んでください。

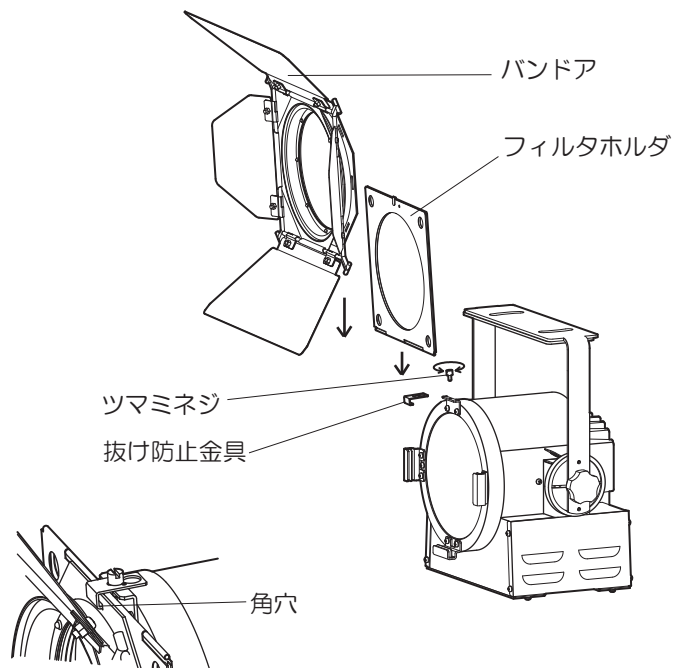


◆ フィルタホルダ、バンドアの装着



平面図

1. ツマミネジを緩めて抜け防止金具を取り外す。
2. フィルタホルダをフィルタホルダ取付用溝に差し込む。
3. バンドアをバンドア取付用溝に差し込む。
4. 抜け防止金具をバンドアの角穴に差し込んでツマミネジを締める。



- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品の交換をしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事に相談する。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は、10cm以上離す。火災・変色の原因となります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルの電源プラグを抜き差ししない。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 演出空間用の器具です。演出空間の用途で使用してください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
- 点灯中や消灯直後に本体を素手で触らない。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切る。本体周辺が熱くなりますので十分さめてから行う。感電・やけどの原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- LED照明器具の光源寿命(※)は40,000時間です。
※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 点検・交換に関しては、専門メンテナンス業者にご依頼ください。
- 安全を確保するために、定期的にチェックリストによる劣化診断を行ってください。
劣化が進行、損傷している部品は、メンテナンス業者による交換を実施ください。

使用上のご注意

- ・LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・LEDは交換できません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・位相制御回路では使用できません。純直電源にてご使用ください。調光動作の不具合や器具破損の原因となります。
- ・演出時の消灯は電源スイッチではなく、操作器による消灯で行ってください。
- ・LEDの調光下限域での点灯特性として、点滅のフェーダレベルは、フェードアウトでの消灯時より、フェードインでの点灯時の方が高くなります。このため、フェードアウトでの点灯下限で記憶したシーンは、シーン再生時に再現されないことがあります。調光下限付近のシーン記憶/再生を行う場合は、フェードインによって点灯させて、シーン記憶を行ってください。
- ・調光器と組み合わせで使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
 - ・同一器具、又はシリーズ器具で点灯及び消灯時のフェードのしかたに違いの出る場合があります。
 - ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- ・照明器具の電源をスイッチ、ブレーカによりOFFした直後に、電源を再投入した場合、LEDが瞬時に発光することがあります。これを避けるためには、電源再投入までの時間を長く(約10秒間程)確保頂く、又は、調光信号によるフェードイン/フェードアウトによる点灯消灯を行ってください。
- ・Zカット付きユニットでは、短時間のフェードイン/アウト操作により、上記の電源再投入と同じく瞬時発光現象が生じることがありますので、Zカット付きユニットのご使用は避けてください。

保守・点検について

◆保守とお手入れ

- 常に明るさを保って使っていただくために、定期的に清掃をしてください。
- 照明器具には寿命があります。計画的な点検、保守を行ってください。
以下に、主な有寿命部品と、その交換時期の目安を記載していますので、日常点検、及び定期点検を実施頂き適宜交換を行い安全にご使用ください。
※使用条件は年間の使用日数が150日～250日、1日あたりの使用時間が8時間です。
 - ・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合・移動やシューティングの頻度が高い場合などは寿命が短くなります。
 - ・「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
1年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 器具内部の部品の交換が必要な保守・修理は、工場での修理対応となります。

チェックリスト

◆チェックリストによる安全点検と劣化診断

商品をご安全にご使用いただくために、定期的・日常的に部品等の劣化具合を診断してください。
危険な状態にならない様に、前倒しでの部品交換による保全、メンテナンスをお勧めします。

調査項目	点検項目	処 置			メーカー 修理依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	フィルターホルダ枠・固定金具に異常な変形・損傷が無いか。				○
	塗装の極度の変色、剥がれ、錆が無いか。				○
	ネジなどのゆるみ、リベットカシメ部に浮きなどが無いか。		○		
	灯具内に塵埃や紙吹雪等が無いか。	○			
アーム	アーム、ダボに異常な変形・損傷が無いか。			○	
	アームツマミを締めてガタツキが無いか。			○	
フィルタホルダ	異常な変形・損傷が無いか。			○	
内部配線	変色、変形、硬化、焦げ臭く無いか。				○
電源ケーブル	電源ケーブルの張力止めが緩んでいないか。		○		
	変色、硬化している。ひび割れが無いか。				○
落下防止ワイヤー	金具が変形していないか。				○
	素線切れが無いか。				○
	フックの変形が無いか。				○
電源プラグ	ヒビ割れ、カケが無いか。充電部露出が無いか。			○	
	端子ネジの緩みが無いか。		○		
ツマミ類	割れ、カケは無いか。			○	
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。（絶縁抵抗5MΩ以上）				○

保証について

- ◆保証について 商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
- ◆保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ◆補修用性能部品について 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

質量および外かく温度・定格

質 量	6.4kg
外かく温度（点灯の安定時）	80℃
定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	45W
入力電流	0.45A

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

M0120-030722